



平成19年3月期 第3四半期財務・業績の概況（非連結）

平成19年1月24日

上場会社名 株式会社宮入バルブ製作所 (コード番号：6495 東証第二部)

(URL <http://www.miyairi-valve.co.jp/>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 高井 洋 TEL：(03) 3535—5575

責任者役職・氏名 取締役管理部長 田宮智子

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

①会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(1) たな卸資産は、実地たな卸を行わず帳簿たな卸により算定しております。

(2) 税金費用の計算は、簡便的な方法を採用しております。

②最近会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

③持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成19年3月期第3四半期財務・業績の概況（平成18年4月1日～平成18年12月31日）

(1) 経営成績の進捗状況 (百万円未満切捨て)

	売上高		営業利益		経常利益又は 経常損失(△)		四半期(当期)純利益 又は純損失(△)	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	4,503	(25.1)	174	(-)	△124	(-)	△185	(-)
18年3月期第3四半期	3,599	(△1.4)	-	(-)	-	(-)	-	(-)
(参考)18年3月期	5,149		304		761		476	

	1株当たり四半期 (当期)純利益 又は純損失(△)	潜在株式調整後1株 当たり四半期(当期) 純利益又は純損失(△)
	円 銭	円 銭
19年3月期第3四半期	△11 38	-
18年3月期第3四半期	-	-
(参考)18年3月期	29 21	-

(注) 1. 売上高におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

2. 前会計年度は、四半期財務諸表を作成していないため、売上高を除き、前年同四半期実績及び増減率については記載しておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益又は純損失(△)については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

4. 当四半期数値は、監査法人による監査を受けておりません。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期におけるわが国経済は、企業収益が改善したことにより設備投資の増加や雇用情勢の改善が進む中で、緩やかな回復基調が見られました。一方では原材料価格高騰の長期化等の懸念材料もあり、先行きに不透明感も漂う状況でありました。

このような状況下における製品種類別の概況は、以下のとおりであります。(百万円未満切捨て)

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期)	増 減		(参考) 平成18年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
	百万円	百万円	百万円	%	百万円
容 器 用 弁	1,622	1,488	133	9.0	2,159
L P G 用 弁 類 ・ 機 器	1,426	1,340	85	6.4	1,841
そ の 他 弁 類 ・ 機 器	259	195	63	32.3	304
そ の 他	235	196	39	20.2	253
屑 売 上 高	960	378	582	153.8	591
合 計	4,503	3,599	904	25.1	5,149

【容器用弁】 L P G 用容器用弁につきましては、黄銅材料の価格急騰による販売価格の改訂に伴う駆け込み需要の増加により、当該区分の売上高は 1,622 百万円（前年同期比 9.0%増）となりました。

【L P G 用弁類・機器】 黄銅弁装置用弁につきましては、ガスメーターの交換需要に伴い、ガス栓等の需要が増加したこと、また L P G 輸送用船舶用弁の受注が好調に推移したことから、当該区分の売上高は 1,426 百万円（前年同期比 6.4%増）となりました。

【その他弁類・機器】 消火設備関連及び医療関連の売上は減少いたしましたが、大型海外塩素プラントの受注および海外向け半導体設備用弁の受注が好調に推移しことから、当該区分の売上高は 259 百万円（前年同期比 32.3%増）となりました。

【その他】 安全弁用部品の大幅な数量増加および一般高圧ガス用研掃機等の販売により、当該区分の売上高は 235 百万円（前年同期比 20.2%増）となりました。

【屑売上高】 黄銅屑につきましては、発生量は前年同期とほぼ同じでしたが、黄銅材料の価格高騰に呼応し高値で推移したため、当該区分の売上高は、960 百万円（前年同期比 153.8%増）となりました。

なお、当第3四半期時点における損益につきましては、営業外費用に有価証券評価損 188 百万円および有価証券売却損 117 百万円を計上いたしましたので経常損失 124 百万円となりました。また、特別損失に投資有価証券売却損 121 百万円、役員退職慰労金 16 百万円を計上いたしました結果、第3四半期純損失 185 百万円となりました。

(2) 財政状態の変動状況

(百万円未満切捨て)

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第3四半期	10,609	4,376	41.3	268 62
18年3月期第3四半期	—	—	—	—
(参考)18年3月期	11,423	4,459	39.0	273 71

(注) 前会計年度は、四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期実績については記載しておりません。

[財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期における総資産は、前事業年度末と比べ814百万円減少し、10,609百万円となりました。主に、有価証券取引による未収入金の減少と買付有価証券の減少によるものであります。

負債につきましては、前事業年度末と比べ731百万円減少し6,232百万円となりました。これは、会社法施行に伴う財務諸表等規則の改正(平成18年4月25日改正)により、「繰延ヘッジ損益」を純資産の部の評価・換算差額等の分類へ区分掲記したことと有価証券取引に係る未払金の減少によるものであります。

○ 添付資料

1. (要約) 四半期貸借対照表
2. (要約) 四半期損益計算書
3. (要約) 四半期株主資本等変動計算書

以上

[参 考]

平成19年3月期の業績予想(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

[業績予想に関する定性的情報等]

平成18年11月22日付けの当社「平成19年3月期 中間決算短信(非連結)」にて発表いたしました数値を当第3四半期までの業績結果を踏まえて、通期の業績予想を修正する予定であります。

具体的な業績予想数値につきましては、最終四半期期間の売上高の動向並びに損益に大きな影響をきたす株価等を見極めながら有価証券に係る運用及び評価損益等を勘案したうえ、判明次第お知らせいたします。

【添付資料】

1. (要約) 四半期貸借対照表

科 目	当四半期 (平成 19 年 3 月期 第 3 四半期末)		(参考) 平成 18 年 3 月期		
	金 額 (千円)	構成比 (%)	金 額 (千円)	構成比 (%)	
(資産の部)					
I 流動資産					
現金及び預金		1,219,272		1,864,232	
受取手形及び売掛金		1,705,188		1,360,091	
有価証券		272,848		336,377	
買付有価証券		766,022		1,255,406	
たな卸資産		1,171,607		1,009,577	
繰延税金資産		—		56,700	
未収入金		26,653		633,848	
コモデティ・スワップ [※] 等		620,483		331,507	
その他		515,563		123,794	
貸倒引当金		△ 17,351		△ 65,446	
流動資産合計		6,280,288	59.2	6,906,088	60.5
II 固定資産					
有形固定資産					
建物及び構築物	176,543		192,300		
機械装置及び運搬具	327,305		362,871		
土地	2,506,900		2,516,120		
その他	43,815	3,054,564	40,797	3,112,088	27.2
無形固定資産					
ソフトウェア	9,045		11,227		
電話加入権	2,810	11,855	2,810	14,037	0.1
投資その他の資産					
長期性預金	200,000		200,000		
投資有価証券	823,029		1,011,502		
長期貸付金	165,402		180,402		
更正債権等	20,030		2,085		
その他	128,459		54,338		
貸倒引当金	△ 74,580	1,262,341	△ 57,235	1,391,093	12.2
固定資産合計		4,328,761	40.8	4,517,220	39.5
資産合計		10,609,049	100.0	11,423,308	100.0

科 目	当四半期 (平成 19 年 3 月期 第 3 四半期末)		(参考) 平成 18 年 3 月期	
	金 額 (千円)	構成比 (%)	金 額 (千円)	構成比 (%)
(負債の部)				
I 流動負債				
支払手形及び買掛金	1,306,919		1,046,178	
短期借入金	300,000		50,200	
1年以内返済予定の長期借入金	241,800		230,050	
1年以内償還予定の社債	60,000		360,000	
未払金	1,225,515		1,752,445	
未払費用	286,006		38,294	
未払法人税等	11,754		114,069	
未払消費税等	—		1,582	
未払配当金	767		—	
前受金	2,311		681	
預り金	14,514		5,326	
繰延税金負債	181,298		—	
賞与引当金	15,979		81,319	
製品補償引当金	68,402		157,414	
繰延ヘッジ利益	—		331,507	
流動負債合計	3,715,270	35.0	4,169,067	36.5
II 固定負債				
社債	480,000		540,000	
長期借入金	324,530		505,880	
再評価繰延税金負債	967,404		967,404	
繰延税金負債	—		2,531	
退職給与引当金	745,341		778,964	
固定負債合計	2,517,276	23.7	2,794,780	24.5
負債合計	6,232,546	58.7	6,963,847	61.0

科 目	当四半期 (平成 19 年 3 月期 第 3 四半期末)		(参考) 平成 18 年 3 月期	
	金 額 (千円)	構成比 (%)	金 額 (千円)	構成比 (%)
(資本の部)				
I 資本金	—	—	2,315,000	20.3
II 資本剰余金	—	—	32,470	0.3
III 利益剰余金	—	—	597,864	5.2
IV 土地再評価差額金	—	—	1,451,107	12.7
V その他有価証券評価差額金	—	—	68,244	0.6
VI 自己株式	—	—	△ 5,225	△ 0.1
資本合計	—	—	4,459,460	39.0
負債、資本合計	—	—	11,423,308	100.0
(純資産の部)				
I 株主資本				
資本金	2,315,000	21.8	—	—
資本剰余金	32,470	0.3	—	—
利益剰余金	320,610	3.0	—	—
自己株式	△ 5,318	△ 0.0	—	—
株主資本合計	2,662,762	25.1	—	—
II 評価・換算差額等				
その他有価証券評価差額金	△ 109,656	△ 1.0	—	—
繰延ヘッジ損益	372,290	3.5	—	—
土地再評価差額金	1,451,107	13.7	—	—
評価・換算差額等合計	1,713,740	16.2	—	—
純資産合計	4,376,503	41.3	—	—
負債、純資産合計	10,609,049	100.0	—	—

2. (要約) 四半期損益計算書

科 目	当四半期 (平成 19 年 3 月期 第 3 四半期)			(参考) 平成 18 年 3 月期		
	金 額 (千円)	百分比 (%)		金 額 (千円)	百分比 (%)	
I 売上高	4,503,819	100.0		5,149,854	100.0	
II 売上原価	3,671,840	81.5		3,949,315	76.7	
売上総利益	831,979	18.5		1,200,539	23.3	
III 販売費及び一般管理費	657,839	14.6		896,276	17.4	
営業利益	174,140	3.9		304,262	5.9	
IV 営業外収益	49,945	1.1		508,467	9.9	
V 営業外費用	348,616	7.8		51,302	1.0	
経常利益又は経常損失 (△)	△ 124,531	△2.8		761,427	14.8	
VI 特別利益	87,225	1.9		273,107	5.3	
VII 特別損失	151,761	3.3		506,469	9.8	
税引前四半期 (当期) 純利益又は純損失 (△)	△ 189,067	△4.2		528,065	10.3	
法人税、住民税及び 事業税	6,538	0.1		108,691	2.2	
法人税等調整額	△ 10,195	△0.2		△ 56,700	△1.1	
四半期 (当期) 純利益 又は純損失 (△)	△ 185,410	△4.1		476,074	9.2	

3. (要約) 四半期株主資本等変動計算書

当第3四半期会計期間（自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日）

	株主資本					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金		自己株式	株主資本合計
		資本準備金	利益準備金	繰越利益剰余金		
平成18年3月31日残高(千円)	2,315,000	32,470	—	597,864	△ 5,225	2,940,108
第3四半期会計期間中の変動額						
利益処分による利益準備金積立			5,000	△ 5,000		—
利益処分による利益配当				△ 48,877		△ 48,877
過年度税効果調整額				△ 42,965		△ 42,965
第3四半期純利益				△185,410		△185,410
自己株式の取得					△ 93	△ 93
株主資本以外の項目の第3四半期会計期間中の変動額(純額)						—
第3四半期会計期間中の変動額合計(千円)	—	—	5,000	△282,253	△ 93	△277,346
平成18年12月31日残高(千円)	2,315,000	32,470	5,000	315,610	△ 5,318	2,662,762

	評価・換算差額等				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
平成18年3月31日残高(千円)	68,244	—	1,451,107	1,519,351	4,459,460
第3四半期会計期間中の変動額					
利益処分による利益準備金積立					—
利益処分による利益配当					△ 48,877
過年度税効果調整額					△ 42,965
第3四半期純利益					△185,410
自己株式の取得					△ 93
株主資本以外の項目の第3四半期会計期間中の変動額(純額)	△ 177,901	372,290	—	194,389	194,389
第3四半期会計期間中の変動額合計(千円)	△ 177,901	372,290	—	194,389	△ 82,957
平成18年12月31日残高(千円)	△ 109,656	372,290	1,451,107	1,713,740	4,376,503